



2019年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年12月11日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL https://www.cec-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 富士夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 筒井 伸二 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 2018年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年1月期第3四半期の連結業績（2018年2月1日～2018年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年1月期第3四半期	36,979	12.0	3,696	42.1	3,722	41.2	2,500	45.5
2018年1月期第3四半期	33,031	1.1	2,601	11.6	2,635	9.3	1,718	29.9

(注) 包括利益 2019年1月期第3四半期 2,010百万円 (△7.4%) 2018年1月期第3四半期 2,172百万円 (61.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年1月期第3四半期	71.59	71.03
2018年1月期第3四半期	49.21	48.87

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年1月期第3四半期	37,937	28,231	74.1
2018年1月期	36,052	27,602	74.0

(参考) 自己資本 2019年1月期第3四半期 28,094百万円 2018年1月期 26,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2019年1月期	—	30.00	—	—	—
2019年1月期(予想)	—	—	—	13.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年1月期(予想)の期末配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2019年1月期(予想)の1株当たりの期末配当金は26.00円となります。

3. 2019年1月期の連結業績予想（2018年2月1日～2019年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,200	7.0	4,700	25.4	4,750	24.4	3,200	22.8	91.63

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年1月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年1月期3Q	37,600,000株	2018年1月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	2019年1月期3Q	2,676,174株	2018年1月期	2,676,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年1月期3Q	34,923,882株	2018年1月期3Q	34,924,184株

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式数)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年2月1日～2018年10月31日)におけるわが国経済は、地政学リスクや米中貿易摩擦の影響で先行き不透明感があるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善、個人消費の回復がみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

情報サービス産業においては、景気回復を背景とした企業のIT投資が引き続き活発化しております。ICTを活用したビジネスの変革や労働力減少対策が期待されるほか、CAMBRIC(Cloud Computing、AI、Mobility、BigData、Robotics、IoT、CyberSecurity)などの先進技術領域において、新たな市場の創出やデジタルビジネスの拡大が予想されております。

このような情勢のなか、当社グループは新たに第2期中期経営計画「PROMINENT(プロミネント)」を掲げ、第1期中期経営計画「INTEGRATE」で構築した事業モデルを引継ぎつつ、事業効率のさらなる改善と事業規模拡大を目指すべく、諸課題に取り組んでまいりました。注力事業であるスマートファクトリー事業およびセキュリティサービス事業を中心に自社製品・サービスを各種セミナーや展示会へ積極的に出展し、拡販活動に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は事業全般において活況な市場環境を背景に好調に推移し、売上高は369億7千9百万円、前年同期比39億4千8百万円(12.0%)の増となりました。利益面では増収に伴う利益の増加に加え、前期に発生した不採算案件の収束や生産性・品質向上施策の推進により利益率が改善し、営業利益は36億9千6百万円、前年同期比10億9千4百万円(42.1%)の増、経常利益は37億2千2百万円、前年同期比10億8千6百万円(41.2%)の増、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億円、前年同期比7億8千1百万円(45.5%)の増となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間から、第2期中期経営計画「PROMINENT」に合わせて、さらなる事業効率の改善と事業規模の拡大を図る目的で組織変更を行い、セグメント区分を「インダストリーオートメーション事業」、「システムインテグレーション事業」、「プラットフォームインテグレーション事業」の3区分から、「デジタルインダストリー事業」、「サービスインテグレーション事業」の2区分に変更しています。これにより各セグメントの前年同期比については、前年同期の実績値を変更後の区分に組み替えております。

デジタルインダストリー事業	製造業のデジタル化の支援を目的とする、自社オリジナルのICT製品・サービスを提供 組立製造業を中心に、生産性や品質の向上を実現するソフトウェア製品を企画・販売するとともに、それら製品を活用したシステムインテグレーションサービスを提供
サービスインテグレーション事業	特定分野のアプリケーション開発から、ICTインフラ構築・運用まで、情報システムのライフサイクル全般にICTサービスを提供 データセンターも活用し、ICT全体のフルアウトソーシングを推進し、企業のICTパートナーとして、長期的なストックビジネスの事業モデルを拡大

(デジタルインダストリー事業)

デジタルインダストリー事業におきましては、製造業向けシステム開発、製品開発支援サービスならびに先進技術を活用したIoT関連ビジネスが活況な市場動向を背景に伸長したほか、注力事業であるスマートファクトリー事業も計画どおり進捗し、自社開発製品の販売が好調に推移したことで、売上高は123億5千4百万円、前年同期比17億5千3百万円(16.5%)の増、営業利益は23億8千8百万円、前年同期比7億1千万円(42.3%)の増となりました。

(サービスインテグレーション事業)

サービスインテグレーション事業におきましては事業全般において堅調に推移し、とりわけインフラ構築サービス、データセンターサービス、マイクロソフト社との協業ビジネスが伸長したほか、注力事業であるセキュリティサービス事業においても自社開発製品の販売が堅調に推移し、売上高は246億2千4百万円、前年同期比21億9千4百万円(9.8%)の増、営業利益は38億2千3百万円、前年同期比4億2千7百万円(12.6%)の増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は379億3千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ18億8千4百万円の増加となりました。これは、おもに現金及び預金が32億8千2百万円増加したことやその他に含まれる前払費用が9億9千6百万円増加、受取手形及び売掛金が27億6千4百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は97億6百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億5千6百万円の増加となりました。これは、おもに賞与引当金が5億9千6百万円増加したことや買掛金が3億8百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は282億3千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億2千8百万円の増加となりました。これは、おもに利益剰余金が16億2千7百万円増加、非支配株主持分が8億2千万円減少したことや退職給付に係る調整累計額が3億3千2百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月期の連結業績予想につきましては、2018年9月11日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,257,969	12,540,897
受取手形及び売掛金	12,369,568	9,605,127
有価証券	1,500,000	1,500,000
商品	697,389	415,484
仕掛品	465,995	524,057
その他	1,488,302	2,816,818
貸倒引当金	△3,172	△2,806
流動資産合計	25,776,053	27,399,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,978,198	3,891,399
土地	2,004,644	2,004,644
その他(純額)	910,488	821,711
有形固定資産合計	6,893,330	6,717,754
無形固定資産		
その他	265,214	267,054
無形固定資産合計	265,214	267,054
投資その他の資産		
その他	3,169,852	3,604,905
貸倒引当金	△52,017	△52,026
投資その他の資産合計	3,117,834	3,552,878
固定資産合計	10,276,380	10,537,688
資産合計	36,052,434	37,937,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,969,029	3,277,821
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,600	13,600
未払法人税等	887,080	846,060
賞与引当金	466,358	1,062,764
受注損失引当金	2,299	11,552
その他	2,231,075	2,336,989
流動負債合計	6,919,444	7,898,788
固定負債		
長期借入金	81,800	68,200
長期末払金	513,602	513,602
繰延税金負債	2,551	—
役員退職慰労引当金	19,491	17,523
退職給付に係る負債	495,599	787,619
資産除去債務	417,272	420,382
固定負債合計	1,530,317	1,807,327
負債合計	8,449,761	9,706,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,733,706
利益剰余金	14,762,325	16,389,477
自己株式	△1,707,527	△1,707,711
株主資本合計	26,055,828	28,001,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,282	41,479
為替換算調整勘定	△3,642	△7,522
退職給付に係る調整累計額	391,705	58,837
その他の包括利益累計額合計	614,345	92,794
新株予約権	112,149	136,881
非支配株主持分	820,351	—
純資産合計	27,602,673	28,231,149
負債純資産合計	36,052,434	37,937,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年2月1日 至 2017年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)
売上高	33,031,339	36,979,566
売上原価	25,912,580	28,653,207
売上総利益	7,118,759	8,326,359
販売費及び一般管理費	4,516,985	4,630,014
営業利益	2,601,773	3,696,345
営業外収益		
受取利息	886	231
受取配当金	10,583	13,380
為替差益	—	504
保険配当金	11,606	1,624
持分法による投資利益	2,027	—
貸倒引当金戻入額	541	157
その他	15,114	19,664
営業外収益合計	40,759	35,563
営業外費用		
支払利息	3,312	3,122
為替差損	2,702	—
リース解約損	—	4,599
その他	579	1,612
営業外費用合計	6,594	9,334
経常利益	2,635,938	3,722,573
特別利益		
固定資産売却益	—	1,256
投資有価証券売却益	60,292	—
特別利益合計	60,292	1,256
特別損失		
固定資産売却損	26	—
固定資産除却損	25,525	2,262
減損損失	18,325	—
特別損失合計	43,876	2,262
税金等調整前四半期純利益	2,652,353	3,721,567
法人税、住民税及び事業税	947,608	1,313,807
法人税等調整額	△84,704	△128,125
法人税等合計	862,903	1,185,682
四半期純利益	1,789,449	2,535,884
非支配株主に帰属する四半期純利益	70,860	35,634
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,718,589	2,500,250

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年2月1日 至 2017年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)
四半期純利益	1,789,449	2,535,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,332	△184,947
為替換算調整勘定	2,290	△4,164
退職給付に係る調整額	245,468	△335,798
その他の包括利益合計	383,092	△524,910
四半期包括利益	2,172,542	2,010,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,087,587	1,978,699
非支配株主に係る四半期包括利益	84,954	32,275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2017年2月1日至2017年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタル インダストリー 事業	サービスインテ グレーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,601,614	22,429,725	33,031,339	—	33,031,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,675	418,866	420,541	△420,541	—
計	10,603,290	22,848,591	33,451,881	△420,541	33,031,339
セグメント利益	1,678,032	3,396,484	5,074,517	△2,472,743	2,601,773

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,472,743千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2018年2月1日至2018年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタル インダストリー 事業	サービスインテ グレーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,354,982	24,624,583	36,979,566	—	36,979,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,530	469,982	479,513	△479,513	—
計	12,364,513	25,094,566	37,459,080	△479,513	36,979,566
セグメント利益	2,388,579	3,823,901	6,212,481	△2,516,136	3,696,345

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,516,136千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、第2期中期経営計画「PROMINENT」に合わせて、さらなる事業効率の改善と事業規模の拡大を図る目的で組織変更を行い、セグメント区分を「インダストリーオートメーション事業」、「システムインテグレーション事業」、「プラットフォームインテグレーション事業」の3区分から、「デジタルインダストリー事業」、「サービスインテグレーション事業」の2区分に変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。